

平成 30 年度 第 3 回環境計画推進パートナーシップ会議 議事録

- 開催日時：平成 31 年 2 月 14 日(木) 10:00～11:30
- 開催場所：西宮市役所 本庁舎 6 階 681 会議室
- 出席委員：小川会長、清水副会長、樋口委員、西明委員、那須委員、柳生委員、栗本委員、石川委員、野村委員、田邊委員、大谷委員、山崎委員
- 事務局：石井市長
(環境局) 須山局長
(環境総括室) 廣田室長
(環境事業部) 田中(義)部長
(環境施設部) 野田部長
(公園緑化部) 伊藤(泰)部長
(環境学習都市推進課) 岩田課長、吉田係長、八木係長、田中(裕)係長、藤原副主査、伊藤(大)主事、松井主事
(美化企画課) 森川課長、加羅係長、吉岡係長
(施設管理課) 小西課長
(施設整備課) 山村課長
(みどり保全課) 岸本課長、山本副主査

開会の挨拶

- 開会の挨拶 (岩田課長)
- 石井市長より挨拶
- 傍聴希望者の確認 (傍聴者数：0 人)

1. 審議事項

(1) 「環境まちづくりフォーラム」について

- ・ 会場について、勤労会館は収容人数が多い為、動員のお願いが必要になる。
- ・ 5 月は休日開催なので、時期をずらし 7 月の平日に開催を検討。その際は会長と事務局に一任してもらいたい。会場が予約できない時は当初どおり 5 月で開催を考えている。(事務局)
- 計画ができて市民、事業者に初披露する場であるので、参加者が多い方が好ましい。土曜日は企業や行政の参加は厳しいのではないかと。市民・事業者・行政 3 者で取り組んでいく中で、参加しにくいのであれば、時期をずらし、皆が集まれる日にした方が良く考えている。(委員等)
- 平日の昼間の時間帯は、企業等は参加し難いと思われる。また、このフォーラムは業務として参加するものなのか。(委員等)
- 業務として参加してほしい。(委員等)
- 事業系ごみ削減について、事業所の協力は大きく、関心を高めたいと考える。(委員等)
- 行政も土木局、教育部局等が参画しないと、具体的施策に反映できないと考えている。土曜日は

- 勤務外になるので、行政は参加し難いと思われる。(委員等)
- 本社としては、平日の方が参加し難い。(委員等)
 - JA 兵庫六甲としては平日・休日のどちらの開催でも大丈夫である。(委員等)
 - 研修項目(事業説明会)として開催するか、また、市民を巻き込んだ催しとして2回開催するのはどうか。2~3時間程度で終わるのであれば研修として参加しやすいのではないか。(委員等)
 - 一般的に考えると、事業所は、多数の社員が平日研修に参加することは難しい会社が多いのではないか。(委員等)
 - 各企業から1名程度、西宮の大手企業を含めた事業所で環境担当の社員に参加いただく程度になると思う。(委員等)
 - 業務の一環として参加してもらえる企業は協力的であって、そうでない企業に説明するのが趣旨に添うのではないか。(委員等)
 - 地域で活動している団体として、年度明けは総会があるので一番忙しい時期である。特に今年の5月は10連休なので、その後の5月中旬から下旬にかけては時期は難しい。(委員等)
 - 5月18日で地域で活動されている方へ参加の声掛けが難しい場合、7月開催の方がよいか。(委員等)
 - 地域は平日も忙しい状況であるが、総会が平日にあるので週末の方がよいと考える。(委員等)
 - 社会福祉協議会としても総会や役員改選がこの時期にある。(委員等)
 - それぞれの団体から出てくる役員が会長等の役を継続して、問題意識をもって動いていただけると一番ありがたいが、役が終わると継続性がないので時期を考えなければいけない。(委員等)
 - 場所は勤労会館で収容人数が最大400人となると地域から動員が必要になる。(委員等)
 - ある程度の人が集まるフォーラムにしたいと考えている。時期的に声掛けが難しいのであれば、東館で中核になる方を中心に開催し、その後組織の中で広めていただく方がよいのではないか。(委員等)
 - 5月18日は、市長は参加可能か。(委員等)
 - 他の予定が入っている。(委員等)
 - 市長に参加していただいた方が説得力も増して良いのではないか。市民に「環境目標の達成に向けてすべての事をやりますよ」と説明しても納得してもらうことが難しく、市民にとって身近なテーマを前面に出して、計画全体をみんなですすめるイメージを作っていかなければいけない。市長が率先して、環境行政を主導していきたいという意向があるのなら、市長が参加できる時期で開催することも考えられる。6月は議会があり、今年は議員改選もある。7月ぐらいで仕切り直してもよいのではないか。通常まちづくりフォーラムよりは参加者をつどい、市長も参加できる休日で再調整してもよいのではないか。(委員等)
 - 5月は難しいのではないか。また、会場にしても400人も動員できるのか。(委員等)
 - ごみ推進委員は何人か。(委員等)
 - 500人程度である。(委員等)
 - 今年は、ごみ減量推進委員の委嘱状を交付する年であり、交付式は例年5月30日あたりである。5月20日は環境衛生協議会の総会で役員改選を行い、参加者を募るといふなら、どちらでも良いと思われる。レジ袋削減の委員会は平日に開催したが、事業所の参加率がよかった。(委員等)

- 西宮市環境基本計画が4月から始まるので、7月だと遅いと思う。(委員等)
- 18日で動員はかけないで行い、終わった後にまた招集して勉強会をした方が浸透すると思われる。体験してからの方が、動員がかけやすいのではないか。(委員等)
- 今年はごみ減量で言うと、3Rから2Rに大きく転換をした時期である。ごみ推進委員の委嘱状も研修を兼ねたものになると思う。新たな計画がスタートした年になり、できるだけ早く市民、関係者に周知するという事も検討材料になる。エネルギー施策も市民への協力のお願いが新年度から動いてくる。あまり遅くない方がよく、5月18日は東館大ホールで開催し、地域で中心になって活動されている方々にお越しいただくことも考えられる。(委員等)
- テーマの設定によって、どういった対象に声をかけるかが決まるのではないか。(委員等)
- サブテーマのような、もう少し具体的なものを出した方が集まりやすい。(委員等)
- テーマがわかりづらい。「持続可能な共生社会に向けて」がサブテーマのように思う。(委員等)
- ②第3次西宮市環境基本計画について説明が出てきた方がわかりやすい。(委員等)
- 計画ができたという事を、もう少し前面に押し出した基本タイトルにし、副題として地域のいろいろな人がともに活動していくという内容で事務局と調整するという事でよろしいか？
(委員等)
- 一度、5月18日(土)で開催準備を進め、テーマを少し入れ替えることとし、続いてパネルディスカッションの内容はどうするか検討していく必要がある。市民、行政、事業者のそれぞれの役割を確認し合うことが重要になってくる。それぞれが、役割を果たす事ができるメンバー構成が必要になると考える。事業者の役割から商工会議所からは必須になり、また、行政は市長が不参加の場合は副市長が市長の思いを代弁し、市民組織はパートナーシップ会議の地域団体からの参加が望ましい。(委員等)
- パネルディスカッションの内容はどのような内容とするのか。(委員等)
- 自分の事として感じてもらうようにしないといけない。また、地域や事業所でどのようにしていくか、具体的な事例を紹介し、関心を持ってもらうとよいのではないか。(委員等)
- ごみ問題などの身近な問題は、はずせないと思われる。自分たちのまちを美しく保つことは、過去の方が色々活動してこられたおかげで、十分認知されている状況である。ごみ減量化の一番の課題は、ごみ減量推進員のメンバーにいかにか知ってもらうか。レジ袋を全部有料にしたらどうかという意見もでてくる。統一されていないのが一番困る。(委員等)
- パネルディスカッションで、パネリストの中で、だれかが悪役になって後ろ向きな意見を言い、それは違うと訂正した方が参加者は理解しやすいのではないか。(委員等)
- 東館だと人数が少なくなるが、勤労会館だとごみ減量推進員に声をかけることができる。ごみ減量推進員のメンバーは役員改選後でも9割は同じメンバーになると思われる。メンバーは高齢の方が多いので平日は時間があると思う。(委員等)
- ごみ減量推進員、環境衛生協議会も巻き込んで参加者を募集する場合は、勤労会館での開催はできる。また、壇上でパネリストとして参加していただくことも含めて相談させていただきたい。(委員等)
- エネルギーは全世帯に関係あるので、エネルギーの分野からも参加してほしい。生物多様性の取り組みは、エココミュニティ会議で行っている委員がいればそこからも、教育関連との関係とし

て、取り上げておかなければならない。PTA 協議会ではどうか。(委員等)

- 聞いてみなければわからない。ネットワークが今自分にはないため、市の教育委員会に聞いた方がわかりやすいと思う。(委員等)
 - エネルギーと廃棄物については、教育行政とのからみ、生活密着のところからのアプローチも含め、どのようにアレンジしていくかは、事務局と私に一任してもらえるか。(委員等)
- 委員一同、同意

2. 報告事項

(1) 第3次西宮市環境基本計画について (事務局)

- ・ パブリックコメント開始時点のもので説明 (パブリックコメントの意見は集約中)
年度末までにホームページにて公開し、完成後、配布を予定している。
 - 基本計画はもらえるのか。(委員等)
- 印刷は 300~500 部予定している。資料編は印刷せず、HP で公開を行う。概要版などの簡易的なものはない。(事務局)
- 一般世帯ももらう事は可能か。(委員等)
- 可能である。ホームページで公開を予定している。(事務局)
- A3 の見開きでもよいので、簡易的なものがあれば説明に使用しやすい。検討してほしい。(委員等)

(2) パブリックコメントについて (事務局)

- ・ 平成 30 年 12 月 10 日 (月) から平成 31 年 1 月 15 日 (火) まで実施。意見提出者数は、7 名。
 - ・ 配置数が「104」、残数が「65」、配布数が「39」という状況。パブリックコメントの結果については、現在集約中。今後、議会等にはかったあと、3 月末までに市政ニュースやホームページ等で公開する予定。
 - デザインが入り見やすくなっている。22 ページ、指標等の地球儀の絵は、南米とヨーロッパが描かれているが、この地域が問題と思われる印象があるといけない。(委員等)
- 別のものに変える。(事務局)

(3) 各部会の報告について

① エネルギー推進部会について (事務局)

- ・ 西宮省エネ行動モニター事業について説明 (事務局)
 - 省エネ行動モニター事業については、ネットではできないのか。(委員等)
- ご高齢の方もいるため、ネットでは対応していない。説明会ではアプリで実施してはどうかと提案もあったが、色々な年代の方がいるので紙ベースのみとした。(事務局)
- 返信の際、切手は貼らなくてよいのか。(委員等)
- 切手は不要。(事務局)
- エネルギーについては、来月の部会で最終的な議論をお願いしたい。市民に何を見せて、協力してもらおうかが必要になる。(委員等)

- モニター用紙を回収した後、何があるのか。(委員等)
- 基本計画の低炭素は2020年度目標までしか掲載していない。それ以降の目標設定の参考にする。具体的には考えていないが、HPでの公開による結果報告を考えていきたい。(事務局)
- テッシュとかももらえないのはどうなのか。所属会議の中では紙と携帯アプリ、両方してほしいと言われた。(委員等)
- 目標設定と言っていたが、(モニター) 1000件は西宮全体で何パーセントか。(委員等)
- 西宮市全体では21万世帯なので、割合としては少ない。(事務局)
- 1000件は所帯数では少ないが、色々な地域から集まる。(委員等)

②廃棄物減量推進部会について (事務局)

③生物多様性推進部会について (事務局)

(3)エココミュニティ会議交流会について (事務局)

3. 連絡事項 (事務局)

- ・公募委員募集について説明。

4. 閉会

- ・閉会の挨拶 (事務局)

以 上